

事務事業名		会議録作成及び市議会情報システム運営事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	6-					担当組織	担当部	議会事務局	担当課	議事課
	政策	1 政策体系外					担当係	議事調査係	担当課長名	高橋幸男	
	施策	1 議会活動支援の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1-					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	26	一般	1	1	1	会議録作成及び市議会情報システム運営事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	17年度～ 年度		根拠法令 条例等	地方自治法 佐野市議会会議規則		市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
								任意的事業・義務的事業		任意的事業	
								実施方法		直営	
								事業分類		その他内部事務事業	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
								市長マニフェスト		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>各種会議録(本会議、議会運営委員会、各常任委員会、予算・決算審査特別委員会)の作成</li> <li>会議録作成にに合わせて、佐野市議会ホームページの会議録検索システムに掲載し、市議会議員、市民、職員に閲覧、検索していただく。</li> <li>また、市議会情報システムより議会情報(議事日程、会議日程等)の閲覧をしていただく。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット27台を導入し、全議員に貸与した。</li> <li>会議録作成及び会議録検索システム維持管理業務委託についての5年契約で入札を行い、アウトソーシングを行った。</li> <li>各定例会の会議録を作成し、本会議、常任委員会、予算決算特別委員会の内容を市議会ホームページ及び職員用デスクトップに掲載した。</li> <li>提出された議案、及び議員個人ごとの賛否等を市議会ホームページに掲載した。</li> <li>定例会最終日に次回の議会日程を掲載した。</li> </ul>					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
本会議の会議録ページ数		ページ	1,046	986	1,020	1,120	1,120
市議会情報システム本会議データ編集加工ページ		ページ	947	896	1,018	1,010	1,010
市議会情報システム各常任委員会データ編集加工ページ		ページ	1,083	997	992	1,260	1,260

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
市人口(4月1日現在)		人	123,182	122,582	121,522	120,683	
議員数(4月1日現在)		人	26	26	26	26	
職員数(4月1日現在)		人	939	1,072	1,054	1,056	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
議会ホームページ閲覧件数		件	16,410	13,210	16,659	17,000	17,400
議会ホームページ内会議録検索システム閲覧件数		件	-	-	3,351	4,500	5,000

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
議会傍聴者数		人	282	327	483	500	550
議員提案及び決議・意見書提出件数		件	6	4	2	4	4

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(実績)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	6,258		6,033		5,321		6,496		6,496	
	事業費計(A)	千円	6,258		6,033		5,321		6,496		6,496	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	107	業務委託料	6,030	消耗品費	21	消耗品費	20		
			業務委託料	6,099	機械借上料		業務委託料	4,039	業務委託料	4,767		
機械借上料			3			機械借上料	1,261	機械借上料	1,320			
庁用器具費			49			使用料		使用料	389			
人件費	人	4		4		4		4		4		
のべ業務時間	時間	2,300		2,300		2,300		2,300		2,300		
人件費計(B)	千円	8,949		9,064		8,956		8,956		8,956		
トータルコスト(A)+(B)	千円	15,207		15,097		14,277		15,452		15,452		

事務事業名	会議録作成及び市議会情報システム運営事業	担当部	議会事務局	担当課	議事課	担当係	議事調査係
-------	----------------------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	会議録の作成は、地方自治法第123条に規定された義務であるため、旧佐野市、旧田沼町、旧葛生町の議会で、それぞれ実施していたが、平成17年に1市2町で合併し、新佐野市議会となってから現在の形で実施している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	地方分権が本格化する中で、地方議会改革も機能強化に関する数次の地方自治法改正を経て、各地方議会で自主的な取組が散見される。近年は、市民に開かれた議会(見える議会)を目指した議会情報の公開や議会基本条例制定の動きが拡がりを見せている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市議会をインターネットで中継(生中継及び録画中継)してほしい。(議員) 会議録の検索及び閲覧が可能な市議会情報システムを議会ホームページで公開し、市民が使えるようにしてほしい。(議員)

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	平成26年度をもって会議録の全議員への配布を取りやめ、平成27年度から全議員にタブレットを貸与し、会議録を市議会情報システムを議会ホームページに公開し閲覧できるようにした。会議録作成及び検索システム業務を単年度契約から5年間(長期継続契約)に変更し、一般競争入札を行い、委託費の削減を図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	
	政策体系外施策	理由・改善案	
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	会議録の作成は、地方自治法第123条に規定された義務であり、会議録の閲覧・検索が可能な市議会情報システムの公開は、市民に開かれた議会を目指すものである。
有効性 評価	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	市民、議員、職員を対象とし、議会情報の公開、提供であるため、対象意図を見直す必要はない。
	妥当である	理由・改善案	
	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	平成27年度に市議会情報システムを市議会ホームページで公開したため、市民、議員が閲覧することが出来た。(アクセス数3,351件H27.6.25～) また、職員用デスクネットにも併せて公開できたため職員にも利便が図られた。
効率性 評価	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	
	*類似事務事業があれば、名称を記入	理由・改善案	
公平性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	会議録作成及び市議会情報システム運営事業費は長期継続契約で執行のため事業費の削減は難しい。人件費も業務執行には、会議録校正、調製には確認に長時間を要するためこれ以上の削減は難しい。
	削減の余地はない	理由・改善案	
総合 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	会議録の作成及び市議会情報システムは、会議録を市民に広く公開するものであるため、受益者負担を求める必要がない。
	受益者負担を求めない	理由・改善案	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	佐野市議会が解散すれば事業終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					